

平成 30 年度事業報告

第1号議案 平成30年度事業報告

1. 公1 軟式野球大会開催事業

(7) 軟式野球大会開催事業

(1) 各種軟式野球大会の開催

下表のとおり、事業を終了した。

大会名		会期	会場	参加 チーム数	優勝
天皇賜杯第73回全日本軟式野球大会 ENEOS トーナメント		9月7日(金) ～12日(水)	中山町他	57	千葉県・(株)京葉銀行
高松宮賜杯第62回 全日本軟式野球大会	1部	10月19日(金) ～22日(月)	橿原市他	32	鹿児島県・大口消防署
	2部	9月28日(金) ～10月1日(月)	新潟市他	32	千葉県・千葉日野自動車 野球部
高円宮賜杯第38回全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント		8月19日(日) ～25日(土)	新宿区他	51	滋賀県・多賀少年野球クラブ
文部科学大臣杯第9回 全日本少年春季軟式野球大会		3月23日(金) ～26日(月)	静岡市他	32	高知県・高知中学校
第3回全日本中学女子軟式野球大会 (SPトーナメント)		7月27日(金) ～8月2日(木)	京都市他	42	山梨県・山梨クラブ
第35回全日本少年軟式野球大会		8月12日(日) ～16日(木)	横浜スタジアム	18	兵庫県・兵庫中学校
第73回国民体育大会 (福井しあわせ元気国体)	成年 男子	10月5日(金) ～8日(月)	敦賀市他	32	大阪府・大阪シティ信用金庫
第40回 東日本軟式野球大会	1部	6月8日(金) ～11日(月)	金沢市	28	宮城県・ネットヨクヤ仙台野球部
	2部	5月25日(金) ～28日(月)	沼津市他	29	千葉県・千葉日野自動車 野球部
第40回 西日本軟式野球大会	1部	5月18日(金) ～21日(月)	宮崎市他	26	大分県・フンドーキン醤油(株)
	2部	6月8日(金) ～11日(月)	米子市他	26	沖縄県・総合建築業 伊禮組
水戸市長旗 第26回東日本軟式野球選手権大会		11月2日(金) ～6日(火)	水戸市他	28	愛知県・GTR ニッセイ
第22回 西日本軟式野球選手権大会		11月2日(金) ～5日(月)	長崎市他	26	京都府・佐川印刷(株)
第63回 中部日本都市対抗軟式野球大会		11月9日(金) ～12日(月)	春日井市	13	愛知県・医療法人 和合病院
第1回全日本シニア軟式野球大会 (ドックラッセトーナメント)		6月2日(土) ～4日(月)	倉敷市他	39	高知県・植野陶器店
スポニチ杯 第2回全日本軟式野球大会		11月30日(金)	兵庫県	4	福井県・セーレン(株)
NPB ガールズトーナメント 2018		8月8日(水) ～13日(月)	松山市他	38	神奈川県・YAMAYURI
日本スポーツマスターズ 2018		9月14日(金) ～17日(月)	札幌市他	32	※震災の影響により大会中止
第40回 全国中学校軟式野球大会		8月19日(金) ～23日(月)	呉市他	25	高知県・高知中学校
第40回 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会		7月28日(土) ～31日(火)	長崎市他	16	滋賀県・竜王野球スポーツ少年団

国体総合成績（天皇杯得点）

1位	大阪府	64点	5位	山口県	32点
2位	愛知県	56点	6位	鹿児島県	24点
3位	千葉県	48点	7位	静岡県	16点
4位	福井県	40点	8位	石川県	8点

(2) 寄付金関係

公益目的事業実施のために2各団体、4企業より寄付を受けた。

- ① (公財) 日本高等学校野球連盟・朝日新聞社
- ② (公財) 日本高等学校野球連盟・毎日新聞社
- ③ (株) エスエスケイ
- ④ ヤング(株)
- ⑤ ネスレ日本(株)
- ⑥ (株)横浜DeNAベイスターズ ※全日本少年春季大会出場チームへのボール寄付

(3) 助成金関係

次の事業実施に際し、5団体より助成金の交付を受けた。

- ① 国体派遣役員旅費（日本スポーツ協会）
- ② 選手強化事業交付金（日本オリンピック委員会）
- ③ 少年野球振興事業助成（ミズノスポーツ振興財団）
- ④ スポーツ普及奨励助成事業（スポーツ安全協会）
- ⑤ スポーツ振興くじ助成【指導者講習会事業及びドレッシング検査事業】（日本スポーツ振興センター）
- ⑥ スポーツマスターズ2017旅費（日本スポーツ協会）

(4) 協賛金関係

次のとおり、4団体、10企業より協賛を受けた。

- ① 日本マクドナルド(株)より全日本学童大会の全国大会、支部大会、およびマクドナルド・カップ大会の実施等に対し協賛を受けた。
- ② JXTGエネルギー(株)より天皇賜杯大会の全国大会、支部大会への協賛を受けた。
- ③ 花王(株)より全日本学童大会全国大会への協賛を受けた。
- ④ 全国労働金庫協会より「ろうきん杯」実施支部への協賛を受けた。
- ⑤ 全日本学童大会に対し、全国新聞社事業協議会、東京新聞より協賛を受けた。
- ⑥ ミズノ(株)より全軟連に協賛を受けた。
- ⑦ (株)アシックスジャパンより全軟連に協賛を受けた。
- ⑧ (一社)日本野球機構より「NPB12球団ジュニアトーナメント」および「NPBガールズトーナメント2018」への協力に対し、協賛を受けた。

- ⑨ 全日本中学女子大会に対し、佐川印刷(株)より協賛を受けた。
- ⑩ スポニチ杯大会に対し、エスピータック(株)、相双リテック(株)より協賛を受けた。
- ⑪ 全日本シニア大会に対し、(株)ドゥクラッセより協賛を受けた。
- ⑫ 横浜市より全日本少年大会に助成を受けた。

(5) 協賛金・助成金交付

次のとおり、協賛金・助成金を交付した。

- ① 47 支部に対し、マクドナルド協賛金を交付
- ② マクドナルド・カップ大会を実施した 28 支部に対し、助成金を交付
- ③ 47 支部に対し、ENEOS 協賛金を交付
- ④ 47 支部に対し、花王(株)協賛金を交付
- ⑤ 天皇賜杯大会開催県の協賛協力金として ENEOS 協賛金を交付
- ⑥ ろうきん杯を実施した 5 支部に対し、助成金を交付
- ⑦ 全日本少年大会に対し、スポーツ安全協会助成金を交付
- ⑧ 中学女子大会出場支部 41 支部に対し、助成金を交付
- ⑨ NPB ガールズトーナメント 2018 出場支部 37 支部に対し、助成金を交付

(6) ドーピング検査の実施

次の 3 大会にてドーピング検査を実施し、全て陰性であった。

- ① 天皇賜杯第 73 回大会 (8 検体)
- ② 第 73 回国民体育大会 (4 検体)
- ③ 水戸市長旗第 26 回東日本選手権大会 (4 検体)

(イ) 審判員等養成事業

(1) 全国技術指導員研修会及び全国技術研修員講習会の実施

下表のとおり、事業を実施した。

名 称	期 日	場 所	参 加 者		修了者
北海道・東北地区 技術指導員研修会	3月3日(土)～2日間	北海道・札幌市	審判技術指導員	16名	
関 東 地 区 技術指導員研修会	3月10日(土)～2日間	埼玉県・さいたま市	審判技術指導員	26名	
北信越・東海地区 技術指導員研修会	3月3日(土)～2日間	岐阜県・大垣市	審判技術指導員	29名	
近畿・中国・四国・九州地区 技術指導員研修会	3月3日(土)～2日間	岡山県・岡山市	審判技術指導員	64名	
技術研修員講習会	2月23日(金)～3日間	埼玉県・さいたま市、川口市	審判技術研修員	44名	15名

(2) ブロック審判講習会の実施

下表のとおり事業を実施した。

ブロック	会期	会場	受講者
北海道	5月11日(金)～3日間	北海道・日高町	25名
東北	3月16日(金)～3日間	福島県・福島市	41名
関東	3月16日(金)～3日間	山梨県・甲府市	40名
北信越	10月19日(金)～3日間	富山県・魚津市	28名
東海	11月17日(土)～3日間	静岡県・島田市	32名
近畿	11月23日(金)～3日間	兵庫県・尼崎市	31名
中国	3月23日(金)～3日間	岡山県・岡山市	35名
四国	10月19日(金)～3日間	愛媛県・上島町	16名
九州	3月16日(金)～3日間	佐賀県・武雄市	16名
指導員研修員数	北海道、栃木、東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫各5名(一般登録2千以上) 茨城、群馬、埼玉、千葉、長野、静岡、岐阜、広島各4名(一般登録1千以上) 他各3名		

(3) 全国審判技術指導員スキルアップ研修会

下表のとおり事業を実施した。

会期	会場	受講者
12月1日(土)～2日(日)	埼玉県・上尾市	62名

(ウ) 公認軟式野球規則制定・頒布及び公認野球規則頒布事業

(1) 競技者必携

支部その他に、61,902部を有償、無償で60部を頒布した。

(2) 公認野球規則

支部、その他に49,173部を有償、無償で27部を頒布した。

2. 公2 軟式野球競技を普及するための助成及び広報事業

(7) 各種軟式野球大会普及促進助成事業

(1) 関係団体助成金

軟式野球競技普及に対する助成金として下記9団体に交付した。

- ① 全日本大学軟式野球協会
- ② 公益財団法人日本高等学校野球連盟
- ③ 全国高等学校定時制通信制軟式野球連盟
- ④ 全日本ろう社会人野球連盟
- ⑤ 全国官公庁野球連盟
- ⑥ 全日本女子軟式野球連盟
- ⑦ 全国専門学校野球連盟

- ⑧ 全日本還暦野球連盟
- ⑨ アオダモ資源育成の会

(2) 各種全国大会等後援関係

軟式野球の全国的な組織を主催者とする団体等に対し、以下の 26 事業を後援した。

- ① 全日本大学準硬式野球選手権大会、全日本大学選抜準硬式野球大会、
全日本大学 9 ブロック対抗準硬式野球大会
- ② 全国専門学校軟式野球選手権大会
- ③ 全国高等学校軟式野球選手権大会
- ④ 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会
- ⑤ 全国高等学校定時制通信制軟式野球大会
- ⑥ (公社)少年軟式野球国際交流協会 世界大会
- ⑦ 全日本大学女子野球選手権大会
- ⑧ 全日本女子軟式野球選手権大会、全日本女子軟式野球学生選手権大会 * 共催
- ⑨ 全国青年大会
- ⑩ 全日本古希軟式野球大会
- ⑪ 全日本シニア軟式野球選手権大会
- ⑫ 全日本実業団野球全国大会
- ⑬ 全日本選抜還暦軟式野球大会、全日本還暦軟式野球選手権大会
- ⑭ (一財)世界少年野球推進財団 世界少年野球大会
- ⑮ 高野山旗学童軟式野球選手権大会
- ⑯ 毎日新聞社 くりくり少年野球選手権大会
- ⑰ 親子ふれあいつースペースボール大会
- ⑱ 全国官公庁野球大会
- ⑲ 全国中学生都道府県対抗野球大会 in 伊豆、全国中学生都道府県対抗野球大会(女子の部)
- ⑳ 水戸市長旗東日本少年軟式野球大会
- ㉑ ダイワハウス全国少年少女野球教室
- ㉒ MLBドリームカップ 2018
- ㉓ 全国ガス野球大会
- ㉔ ポップアスリートカップ学童軟式野球全国大会
- ㉕ 全国 500 歳野球大会
- ㉖ アジア還暦軟式野球大会

(イ) スポーツ指導者養成事業

(1) 日本スポーツ協会公認コーチ養成軟式野球専門科目講習会

受講生 65 名(専門科目修了者は 56 名)を集め実施し、全日程を終了した。

前期：11 月 17 日(土)～18 日(日) 横浜市・日本体育大学健志台キャンパス

後期：12 月 7 日(金)～9 日(日) 渋谷区・国立オリンピック記念青少年総合センター

(2) 助成金

日本スポーツ協会より、スポーツ指導者養成事業交付金（H29年度分）、公認コーチ養成専門科目講習会委託金（H29年度分）の助成を受けた。

(3) 成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会

成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会として、チーム指導者及び連盟役員に対し下表のとおり実施、1,756名が受講、修了した。

*平成29年11月18日～平成30年2月4日まで、平成29年度くじ助成事業として開催

	開催地	日程	会場	受講者数
北海道	苫小牧	平成29年11月18日（土）	スキルアップセンター苫小牧	73
神奈川	神奈川	平成29年11月23日（木）	茅ヶ崎総合体育館	87
九州	福岡	平成29年11月23日（木）	市立久留米商業高等学校メディアセンター	88
関東	群馬	平成29年11月26日（日）	ALSOK ぐんま総合スポーツセンター	125
北信越	長野	平成29年11月26日（日）	塩尻総合文化センター	107
東海	静岡	平成29年11月26日（日）	産業大学磐田キャンパス体育館	212
中国	岡山	平成29年11月26日（日）	総社市スポーツセンター	129
東京	東京	平成30年1月20日（土）	国立利根ビック記念青少年総合センター	83
四国	愛媛	平成30年1月27日（土）	テクノプラザ愛媛テクノホール	116
東北	岩手	平成30年1月28日（日）	盛岡市 中央公民館（講堂）	39
近畿	滋賀	平成30年1月28日（日）	大津市皇子山総合運動公園野球場	70
岐阜	岐阜	平成30年2月4日（日）	土岐市駄知町 駄知体育館	461

*平成30年度くじ助成事業として開催

	開催地	日程	会場	受講者数
北海道	札幌	平成30年11月17日（土）	札幌中島体育センター	38
近畿	大阪	平成30年12月8日（土）	大阪市浪速区民センター	128

(ウ) 広報活動事業

(1) 連盟ホームページの活用

例年に引き続き、各種全国大会において試合速報を配信して、迅速な対応を図った。

(2) 学童および少年向け広報誌の発行

ベネッセ・コーポレーションの協力を得て、学童部および少年部の広報誌をそれぞれ1回ずつ発行、各都道府県支部ならびに中体連の協力のもと、登録チームへ配布を行った。配布に際し、広報活動事業に対して協賛を得た。

(3) Facebook による情報発信

各種大会、組み合わせ抽選会、講習会等の連盟の事業活動を、HP による発信を補完する形で、これまで以上に迅速な情報発信を行った。

(4) 全日本学童における動画配信

全日本学童大会において、準決勝から決勝の3試合でインターネット動画配信を実施した。

3. 収 1 野球用具検定事業

全国高等学校軟式野球選手権大会へ使用球 10 ダースを提供した。また、公認ボールの普及促進のため、支部公認球購入費助成として助成金を交付した。

4. 収 2 不動産賃貸事業

軟式野球会館の軟式野球会館の1階、2階、5階スペースを賃貸。
また、軟式野球会館の大規模修繕を行った。

5. 収 3 物品販売事業

役員帽子、ベルト、ワッペン等の制定物品を販売。

6. その他連盟が推進する事業・活動

(1) 職業野球退団者の本連盟復帰者

支部より 11 名の申請があり、資格審査の結果全員復帰を認めた。平成 30 年 12 月末までの復帰者総計 562 名。(40 歳以上も含む)

No.	支部	氏名	最終球団
553	埼玉	大坂谷 啓生	東北楽天ゴールデンイーグルス
554	群馬	相澤 寿聡	広島東洋カープ
555	三重	川崎 貴弘	中日ドラゴンズ
556	東京	天野 勇剛	千葉ロッテマリーンズ
557	東京	梶本 達哉	オリックスバファローズ
558	茨城	和田 博盛	北海道日本ハムファイターズ
559	千葉	大平 成一	北海道日本ハムファイターズ
560	新潟	雨宮 敬	読売ジャイアンツ
561	北海道	加藤 正志	東北楽天ゴールデンイーグルス
562	東京	酒井 純也	読売ジャイアンツ
563	神奈川	堂上 隼人	福岡ソフトバンクホークス

(2) 表彰関係

① 表彰委員会規程による表彰

平成 30 年度の功労者（15 名）の皆様を評議員会の席上にて表彰する。

ブロック	人員	受賞者名
北海道	1	本間 俊三(北海道)
東北	2	齊藤 實(秋田)・菊池 徳男(岩手)
関東	2	濱島 文太郎(栃木)・堀内 清次(山梨)
北信越	1	村中 晃(石川)
東海	1	白鳥 泰司(静岡)
近畿	2	松岡 一男(滋賀)・重吉 豊(兵庫)
中国	2	山丈 晴彦(広島)・河内 行一(山口)
四国	2	渡邊 一志(愛媛)・日隈 照夫(香川)
九州	2	石原 廣士(福岡)・伊藤 正夫(鹿児島)
計	15	

② 読売新聞社主催 平成 30 年度第 68 回日本スポーツ賞

競技団体別最優秀賞 …………… 株式会社 京葉銀行(千葉県)

(3) 開発途上国への軟式野球用具の寄贈について

各支部ならびに一般の方々からの協力により集まった野球用具を主に外務省のスポーツ外交推進事業(器材輸送支援事業)に連携する形で、11ヶ国に寄贈した。

また、2020年東京オリンピック開催に向けた文部科学省、外務省の「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラムとして、JICAが主となり実施している「世界の野球グローブ支援プロジェクト」に協力する形で高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント会期中に回収ブースを設置し、出場チームからの用具提供を受付けた。野球競技の普及および軟式野球のPRを目的にJICAとも情報共有し、野球途上国へ引き続き用具支援していくこととする。

(4) 第 10 回 BFA U12 アジア選手権 日本代表チーム派遣

BFJ および NPB エンタープライズの侍ジャパン事業として 12 歳以下(U12)のアジア選手権にチーム派遣を行った。

今大会もデジタルトライアウトによる応募より選手を選考し、更に東西2会場においてトライアウトを実施した。代表選手15名が決定してからは、国内合宿および直前合宿を経て大会に参加した。また、今大会では、整形外科のドクターも新たに帯同スタッフとして加わり、招集時の肩肘検診や現地における病気や怪我の対応に従事した。

大会の結果は台湾と韓国に敗れ、第3位という結果となった。大会2連覇は果たせなかったが、選手たちは挨拶や礼儀などの立ち居振る舞いにおいて参加チームの模範となり、日本代表の自覚と責任を持って戦ってくれた。

次回に向けて、チーム編成における各支部および登録チームからの理解と協力を得ること、選手のメデイカルチェックを事前に行い障害のない選手を派遣すること、代表チーム編成後の強化合宿の期間を十分に設けることが挙げられるため、引き続き、関係機関ならびに関係団体と連携していきたいと考えている。

【大会概要】

主催：アジア野球連盟(BFA)、中華民国棒球協会(CTBA)

会期：8月13日(月)～19日(日)

チーム(順位)：チャイニーズ・タイペイ(1)、韓国(2)、日本(3)、パキスタン(4)、香港(5)、インドネシア(6)、インド(7)、スリランカ(8)

会場：台湾 台北市(青年公園野球場・新生公園野球場)

スタッフ：団長 小林 三郎 (公益財団法人全日本軟式野球連盟 常務理事)

監督 仁志 敏久 (野球評論家、元巨人、横浜)

コーチ 高橋 雄太 (千葉県・小金原ビクトリー監督)

コーチ 河端 龍 ((株)ヤクルト球団、元ヤクルト)

トレーナー 川島 浩史 (ワイズ・スポーツ&エンターテイメント)

ドクター 古島 弘三、船越 忠直、草野 寛 (慶友整形外科病院)